

「日銀新総裁」誕生でどうなる？日本の景気

LIBERAL TIME

月刊リベラル・タイム



あなたの疑問に答えるビジネス誌

◎シンクタンク・ソフィアバンクディレクター
藤沢久美
◎撮影
立木義浩

5

MAY

定価 430円

2003

平成15年5月1日発行(毎月1回1日発行)第3巻第5号通巻第24号
平成13年8月21日第3種郵便物認可

新古車を売って、新車の税金を預かった「ホンダ」デ
藤沢久美の金融トレンドビュー
「確定拠出型年金で年金額は増やせるか？」
景気浮揚には政策転換が不可欠だ！▼衆議院議員 山本幸三

院長掲載誌

の罪

1 「ヤフーBB」はどこまで普及するのか？
▼神尾寿

2 もし北朝鮮が攻めてきたら、自衛隊は勝てるのか？
▼青山繁晴

3 今後、起きそうな
ネット犯罪とは？
▼園田寿

4 日本郵政公社の誕生で
何が変わる？
▼松原聡



健康情報の落とし穴②ジャーナリスト—油井富雄

脳ドックで「隠れ脳梗塞」を 予防する！

症状が出ない脳梗塞

「えっ！ 脳梗塞なんか起こしたことはないですよ」

以前、脳梗塞であったと医者から告げられて、驚いたAさんはこういった。

喫茶店を経営する、知人の男性Aさん（四十九歳）の話はこうだ。

「先日、突然手が痺れ、コーヒーを淹れる熱湯入りポットを、あやうく落としそうになったんです。ちょっとめまいもして変だなと思ったのですが、しばらく安静にしていたら別になんともないし」

こんなケースでも、脳梗塞の前兆だから、本人は気づかない。

「考えられるのは、リウマチか脳梗塞の前兆じゃないの。リウマチは女性に多いけれど男性にも起きるし、進行すれば箸を持ってなくなったり、膝関節に症状が出

れば、歩行が困難になる恐れもあるよ。

脳梗塞であれば、脳血管の場所によっては、運が悪いとそのままの世行き。その予兆として軽い脳梗塞を起こす例はあるらしいよ」

と、筆者はいままでの取材経験から言葉を選ばず話をした。

知人のAさんは、大急ぎで数十年ぶりに病院に検査に行き、冒頭の言葉をはいたのだ。

「脳の断層写真に細い血管で、何年前かに脳梗塞を起こした痕跡があつてね、先日の症状は初めてだったけれど、症状が出ないものもあるらしい」とAさん。

生活改善の指導と抗血小板治療薬を処方されたAさんは、脳梗塞を起こしやすい体質であることを知り、今後、予防することで、最悪の事態は避けることができ

きるだろう。

五十代の三人に一人が「隠れ脳梗塞」

症状が出ない脳梗塞・通称「隠れ脳梗塞」とはどんな症状なのか。

くどうちあき脳神経外科クリニック（東京都大田区）の工藤千秋院長は、

「運動や感覚を司る脳の部位にある血管が詰まれば症状は出ますが、そうでない部位だと無症状です。脳ドックでこれが発見される人は多いのです」という。

脳梗塞とは、脳



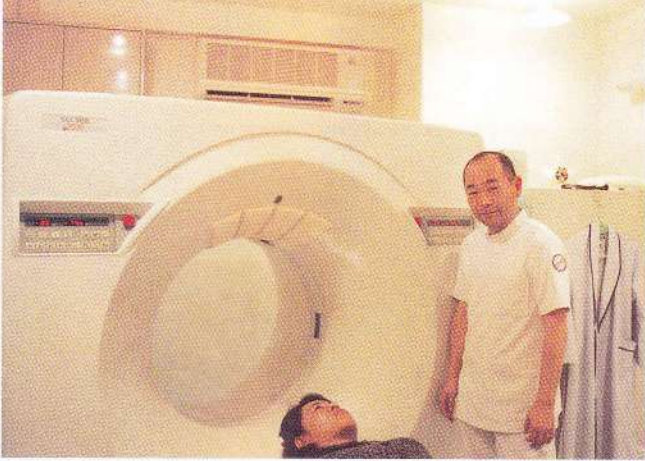
39歳の男性の脳の画像。左の印の横にある黒く細い部分が、過去に脳梗塞を起こした跡（写真提供・くどうちあきクリニック）

内の血管が血栓や塞栓性で詰まってしまい、その先の脳組織が壊れてしまう状態をい、症状には段階がある。

- ① 過性脳虚血発作——手足のしびれや麻痺、言語障害などの神経障害が出て一日以内に消失する場合。
- ② 可逆性虚血性神経脱落——神経障害の症状が一日以上続き、三週間以内に消

●ゆい・とみお
1953年福島県生まれ。
早稲田大学文学部中退後、業界紙記者、『週刊現代』記者を経てフリー。
医療、健康食品問題を冷静な目で取材。

工藤千秋院長（上）と
最新鋭のヘリカルCT（下）



失する場合。

③完成卒中——症状が三週間以上ないし永久的に続く場合。

これは順を追って出るものではなく、発作的に重篤な状態になる場合もある。しかも症状が改善したから、「治った」「健康体だ」ということにはならない。

①と②の場合は、何事もなかったと錯覚してしまふのでやっかいだ。

隠れ脳梗塞は、一過性脳虚血発作の前段階で、自分は健康体だと思っても、過去に脳梗塞を起こした跡があり、これ

からも起こしやすい人を指す。冒頭のA

さんのように自覚症状がなく、脳の画像診断で過去に脳梗塞を起こした跡が見つかるのは、四十歳代で四人に一人、五十歳代で三人に一人といわれている。これを放っておくと、半身不随や脳血管性病

呆症に進行する危険性もある。
「脳の血管が動脈硬化が原因で詰まる場合と、頸動脈や椎骨動脈の動脈硬化が進み、その一部がはがれて脳に飛び、血管を閉塞して脳梗塞が起こる場合があります」（工藤院長）

動脈の血栓が、いきなりはがれて飛ん

でいくのには、自然にそうなる場合と、血圧が異常を示した時や心因性のものが考えられている。

脳血管は、老化現象により徐々に梗塞状態になることは自然の摂理としても、疲労やストレスの多い働き盛りの人は要注意である。

「治療としては、頸部動脈などに粥状の硬化があれば、手術でその部分を取ってしまうこともできます。それと、治りやすいかどうかを自分で見極めておくことが大事です」（工藤院長）

自分の脳を知ることが予防の二歩

工藤院長は、東京労災病院の脳神経科に勤務していた時に、脳神経外科部門のインターネット医療相談サイト（無料）を七年前に立ち上げた。二年前には開院もして、サイトは継続し「頭痛と脳の相談室」として、脳梗塞、頭痛、痴呆症の患者やその家族に好評だ。

手軽に通えるクリニックでは珍しい最新鋭のヘリカルCTを導入。近隣の大型病院と提携しながら西洋薬のみならず漢

方薬、アロマテラピーなども活用して、脳の病気に対応している。

「働き盛りの人が脳梗塞を防ぐには、脳ドックで自分の脳の状態を確認することをお勧めします。隠れ脳梗塞は、これから大きな発作が起こる黄色信号、つまりイエローカードです。症状が出た一過性脳虚血発作はレッドカード、五年以内の大発作が起こる確率は二割から四割との報告があります。腰を据えて治療や予防に取り組む必要があります」（工藤院長）

会社の定期健康診断などでは、脳の画像診断まではやらない。

「とくに日ごろ健康診断をしていない自営業や家庭の主婦の方は、脳ドックで自分が隠れ脳梗塞なのかどうかをチェックしておいた方がいいでしょう」（工藤院長）

ちなみに脳ドックは、全国の画像診断の機器がある医院や病院で可能だが、検査の方法によって値段はまちまちで、三万から十数万円（健康保険適用外）までかかる。

突如として症状が出る脳梗塞の予防には、まず脳ドックで自分の脳について知ることが必要だ。